

## イエスがキリストと輝く X-mas(ヨハネ 1:9-12)

クリスマスおめでとうございます。真っ暗な夜空に大きな星が現れて輝きました。それは絶望の人類に希望の光としてキリストが来られましたと知らせるサインでした。そして、処女マリヤからお生まれになりましたイエス様こそ、そのキリストです。つまりクリスマスというのは、イエス様がキリストとして輝く日です。唯一の希望の光としてキリストが世に来られたそのときをクリスマスと言います。その主人公こそ、イエス様です。もう一度申し上げます。クリスマスはイエス様がキリストとして輝く日です。

イエス様はキリストとして輝いていらっしゃるのに、ある人は自分の中でイエス様がキリストとして輝いているけど、残念ながらある人にはイエスがキリストとして輝くことなく暗闇のままです。どういう人がイエス様がキリストとして輝くようになるのでしょうか。今日の聖書箇所を通してそのことを確認していきたいと思えます。

### 1. 自分の人生の本当の問題を知り認める時、イエスはキリストとして輝く。

第一に、自分の人生の本当の問題が何かを知り、それを素直に認める時、イエス様はキリストと輝き、救いの門が開かれることとなります。

#### 1) 表面の問題

人はさまざまな問題を抱えて人生を生きています。ある人は経済の問題、また健康の問題、人間関係の悩み、家庭内のさまざまなトラブル。またある人は障害を抱えて生まれる場合もあります。そして、過ちを犯したり、事故に見舞われたり、また災害によって大変な目に遭ったり、そういう問題を抱えて生きています。なかなか断ち切れない習慣に悩まされる人もいます。また何かに依存して中毒の症状を患う人もいます。場合によっては、犯罪に手を染める人もいます。数え切れない問題を抱えて、みな悩みつつ人生を歩いているのではないのでしょうか。しかし、それらの問題が自分の本当の問題だと思っている限り、その人にはイエス様がキリストとして輝くことは期待できません。その人がもし教会に通っているとしても、宗教の神様、道徳の神様、あるいはごりやくのための神様、それぐらいの次元、それぐらいのレベルのイエス様に留まってしまいます。いま皆さんに取り上げて申し上げましたそのような問題が本当に問題なのでしょう。

#### 2) 隠されている問題

そういった問題の裏には、実はそうならざるを得ない隠されている問題があるのです。自分で気づいている場合もあるし、そうでない場合もありますが、心の傷を抱えている場合があります。それが裏に隠れているのです。そして、どこで誰に聞いたのかわかりませんが、何かの思想やイデオロギーが入り込んでその人に刻まれる場合があります。それが裏で問題となっていて、さまざまな問題を引き起こしてしまいます。また、その人が自分の意志とは関係なく、生まれてきた家系の背景という問題を抱えている場合があります。そういう隠されている問題を知らずに、いま表に現れていることだけが問題だと思っている限り、問題の解決は期待できないし、たとえ教会に通っていても、イエス様がキリストとして輝くことはなかなか期待できません。

#### 3) 本当の問題(創世記 3 章)

しかし、このように裏に隠れている問題が本当の問題ではありません。それよりもっと深いところに自分の人生の本当の問題があるわけです。表に現れている問題がどのような問題であろうが、その人の一番深いところに、実は神様を離れてしまったという深刻な問題を抱えています。人間は神様とともに歩むように造られている霊的な存在なのに、罪を犯して、神様を離れることになりました。その結果、目には見えないけれども悪魔サタンに隷属となり、いくらもがいても地獄に行くしかない運命に囚われた人生を生きることになりました。これこそが根っこの方にある根本にある本当の問題なのです。しかし、学校に行っても親も偉い人もこの問題について教えてくれるところはどこにもありません。教会から聖書を通してのみ教えられる問題です。だからどんなに偉い人でも、またどんなに苦しみを味わっている人でも、自分の本当の問題が

何かわかっていません。私たちの本当の問題は霊的な問題です。つまり人間の力では絶対解決不可能な問題です。私たちの本当の問題が何かを正しく知り、心から素直に認めない限りは、いくらクリスマスキャロルを歌ってもイエスがキリストとして輝くことはありません。自分の人生の本当の問題が何か認めたときに、自分の人生の問題は悪魔のしわざを打ち壊すこと。罪とのろい、地獄の運命を砕いて勝利すること。そして神様と出会う祝福のいのちのほかに道はないし、問題の答えも問題の解決もないということに気づくようになります。人の根本の問題である悪魔のしわざを打ち壊して、罪と地獄の運命を砕いて、神様と一緒にすることができる道を開かれないのちである方がキリストなのです。キリストの他には道がないということに気づくようになります。そのときに初めてイエス様はキリストとして輝くこととなります。そのときをクリスマスと言います。そして、イエス様がキリストとして輝くようになったときに、その人はその光の方に入っていくようになります。

#### 4) ヨハネ 1:12

今日の聖書を見ますと「受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権」が与えられると言われています。イエス様がキリストとして輝き、そのキリストであるイエス様を自分の救い主として、希望の光として自分の内側に受け入れるようになります。その人から暗闇が去っていき、光り輝き、その人にはいのちの祝福が与えられることとなります。イエス様はキリストです。問題は、イエス様がキリストとして輝くのかどうかの問題です。そして、イエス様をキリストと信じて心に受け入れた人を信者と言います。

### 2. イエス様が主人になる時、信者の内でイエス様はキリストとして輝く。

その人の内側でイエス様がその人の主人となるときに、信者の内側でイエス様はキリストとして輝くようになり、その人はいやされることとなります。そのときをクリスマスと言います。

#### 1) 人生のすべての問題は終わり

どのように輝くのかと言いますと、いままでは自分の過去、また現在、未来に対して、さまざまなことを自分なりに思っていました。にも関わらず、イエス様を主人として心に迎えて認めたときに、自分の人生の過去、現在、未来すべての問題が終わったということが明らかになり、それに目が開かれることとなります。いままでは暗いものに覆われていたその目が開かれて、なるほど、どのような過去であろうが、今現在どういう状況であろうが、私の人生のすべての問題はキリストによって終わったということが宣言できるようになります。なぜ教会に通っているにもかかわらず、その宣言が思いきりできないのかと言いますと、いまだ自分の内側にいらっしゃるイエス様がキリストとして輝いていないからなのです。イエスがキリストとして内側から輝くようになりますと、いままでの暗闇が、特に私たちの思い、考えを覆っていた暗闇が去っていき、そこに光り輝くようになります。すべて終わったんだ。いままで傷だったものが土台に変わり、今現在の心配事がすべて答えに見えてきて、未来の不安が希望に見えてきて、挑戦することになります。ぜひクリスマスの礼拝を通して、皆さんの内側でイエス様がキリストとして輝くようになることを祈りたいと思います。すべての問題が終わっただけではありません。

#### 2) 最高に祝福の人(エペソ 1:3)

私の内側でイエスがキリストとして輝けるようになったときに、自分は条件、状況、環境などに関係なく、最高に祝福された人だということが明らかにされ、自分の評価が変わります。エペソ 1:3 には、刑務所の中にいるパウロが、「私は天にあるすべての霊的祝福を頂いている。自分は幸いなものなんだ」と刑務所の中で宣言しています。イエス様が信者の内側でキリストとして輝くようになったときに、「あー、なるほど。私はこのような体、弱さを抱えているにもかかわらず、聖霊が自分の内側に住まわれ、その聖霊様が私の人生を完璧に導かれ、聖霊の力によって勝利できるものなんだ。だからこそこの祝福を邪魔し、世の人々を捕らえて滅ぼしている悪魔サタンを縛り上げる権威があるし、天使が動員され、神の国のことがなされ、御座の祝福を背景にして残りの生涯を歩いていくものなんだ」ということに気づくようになります。いままでは自分のことをそのように評価したことがありません。いつも外見、才能によって、人の目によって、条件、条件、環境によって評価してきました。にも関わらず、それは暗闇なのです。イエスが内側で輝くようになったときに自分を見る目が変わります。

### 3) 条件や環境、状況に縛られず、幸福のセルフイメージ

だから私は世界福音化のために召されて、それが可能な祝福の神の子どもであるということに気づくようになり、それが明らかにされます。いままで条件、状況、環境などに縛られて、いつも否定的なセルフイメージを持っていた自分に対して、幸福のセルフイメージを持つことができるようになります。いつでしょうか。イエス様を主人として迎えて、自分が自分を見るのではなくて、自分のために十字架で死なれてよみがえられて万軍の主となられた勝利の主イエス・キリストの目で自分を見たときに、自分が家庭環境がどうであれ、成績がダメであろうが、障害を抱えていようが、それと関係なく私は幸いな者なんだ。自分をそのように見ることがない限り、いつもつまずくばかりなのです。いつも周りが悪いから、いつも何かのせい誰かのせいにするその呪縛からなかなか逃れることができません。クリスマスはその呪縛が終わる日なのです。関係ありません。構いません。刑務所の中にいようが、死の影の谷を歩いていようが構わないのです。それがクリスチャンです。なぜなのでしょう。何を根拠にそのように言えるのでしょうか。何をバックにしてそのように言うことができるのでしょうか。イエス様が私の内側でキリストとして輝いているからです。自分自身に対して否定的なイメージを持っていることは、クリスチャンのあり方ではありません。これは世間で言われているような単に肯定的に考えましょうという単純な話ではありません。セルフイメージが変わらない限りは、隣の人を生かすことは無理なのです。それでやっと聖書に記されている言葉ではなくて、この聖書のみことばが自分のものとして自分の内側で輝くようになります。

### 4) II コリント 5:17

「古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました」。キリスト・イエスの中であって。イエス・キリストのほかにも何も見えないように。現場で姦淫の罪を犯して石打ちにされ殺されかけていた女の人に、イエスとその女の人以外、何も見えなくなりました。それがクリスマスなのです。キリストの光が輝くようにならないと。何がそんなにややこしくて、何が複雑なのでしょう。光が照らされると暗闇はそこに存在できません。去っていきます。

### 5) 使徒 1:7-8

イエス様がおっしゃいました。一番最後のメッセージが、その人の胸に刺さることになります。どんな理論、どのような主張があろうが、それはさておいて、それらはあなたがたは知らなくてもいい。Only 聖霊が臨まれると、力を得て、エルサレムからサマリヤ全土、ユダヤ、地の果てにまでわたしの証人となるよと。この言葉を握って、だからこそつぶやきを止め、心配を止めて、不安を投げ捨てて祈ることになります。イエス様がその人の内側で輝くようになりますと、その人は祈る人になります。これこそが真の癒しです。病気が治ることも勿論、癒しです。しかし、本当の癒しは、その人の考え方が変わり、特に自分自身を見る目が変わることです。私は小さい頃からさまざまなことがあったので、自分のことを幸せなものとして一度も見たことがありません。それが事実なので。でもそれが嘘でした。暗闇に囚われているから。イエス様がキリストとして私の内側で輝いていらっしやらなかったの、私は悪魔サタンが作り上げた否定的なセルフイメージにずっと囚われていたわけです。もうごめんです。イエスはキリストです。イエス様がキリストとして輝くようになること、これこそがクリスマスです。イスラエル人は、自分の国がローマの植民地なので、これより大きな課題テーマはどこにあるのでしょうか。だから、自分の国がいつ独立できるか、それにこだわることは普通当たり前ではないのでしょうか。しかし、それもイエスがキリストとして輝いていないからなのです。皆さんにどのような悩み、どういう問題、どのような弱さがあるのでしょうか。人には言えないそのような悩みなどを抱えていらっしやるのでしょうか。その皆さんの内側にキリスト、イエス様を主人として迎えますと、自分が下りてきて、自分が砕かれて十字架とともにつけられますと、イエスがキリストとして輝き、イエス様のこのようなみことばが聞こえてきます。それらはあなたがたは知らなくてもいいです。あなたはそんな存在ではありません。イエスがあなたのために十字架で死なれたイエスのいのちが宿る尊い神の子どもなんだ。だから、Only 聖霊が臨まれるとそちらの方に集中することになります。そして、必ず自分の考えと想像、能力をはるかに超えた神の国のわがが現れることを必ず見るようになるでしょう。これがクリスマスなのです。

3. この世は暗闇の中にあることが見える時、信者(教会)を通して現場にイエス様はキリストとして輝く。

そして最後に、イエス様がその人の内側でキリストとして輝くようになった人は必ずこのようになります。この世は暗闇の中にあるということが見えてきます。そのときに信者を通して現場にイエス様はキリストとして輝くようになり、福音宣教の扉が開かれることとなります。これをクリスマスと言います。クリスマスは、昔 2000 年前のことを思い出してキャロルを歌う時ではありません。イエス様がキリストとして輝くことがクリスマスであれば、クリスマスは今現在進行形なのです。

#### 1) イザヤ 60:2、エペソ 2:2

この世はイザヤ 60 : 2 を見ますと「見よ。やみが地をおおい、暗やみが諸国の民をおおっている」。これがこの世の正体なのです。黙示録 12 : 9 には「こうして、この巨大な竜、すなわち、悪魔とか、サタンとか呼ばれて、全世界を惑わす、あの古い蛇は投げ落とされた」。古い蛇と言われている悪魔サタンが全世界を惑わしているということを認めますか。世の中はそういうところなのです。経済が発展し、技術が科学が AI が発展するからそうでないかのように思うかもしれませんが、基本的に世の中は変わることなどありません。エペソ 2 : 2 にも「空中の権威を持つ支配者」と悪魔サタンのことを指して言っています。空中、この世を支配している者がいるわけです。これはただ動いているわけではありません。暗闇に覆われているこの世、悪魔サタンが支配しているこの世で人々にこのようにささやいています。一生懸命、頑張れば幸せになれるよ。裕福になれば幸せになれるよ。成功さえ収めれば幸せになれるよ... というふうに囁いているわけです。本当にそうなのでしょうか。

#### 2) 宗教、偶像、占い

世の中はそういう悪魔のささやきに惑わされて、そのことのために宗教を作り出して偶像を拝み、占いに走っているわけです。

#### 3) 霊的問題、精神問題、病、人生崩壊、永遠の滅び、霊的遺産

結果、幸せどころか霊的な問題が生じ、精神的に患い、肉体的にも病を患い、人生が崩壊してしまい、死の恐怖に怯えて、結局は永遠の滅びに落ちる運命を抱えて生きているし、これが霊的な遺産になって子孫代々ずっと受け継がれるようになる。そういう運命に囚われて生きているところがこの世なのです。

#### 4) キリストの絶対必要

つまり、この世が暗闇に囚われていることが見えてきたときに、この世に必要なのは、キリストの他にはない。キリストが絶対に必要なんだという答えにたどり着くようになります。だからその人を通して神様は暗闇の世にイエスがキリストとして輝くように用いられて働くようになります。

#### 5) 使徒 3:6、マタイ 5:14

ペテロはこのように言いました。「私にあるものを上げよう。ナザレのイエス・キリストの名によって、歩きなさい」。この暗闇の世に、人々に絶対必要なキリストが、信者自身の内側にいらっしゃるこのような確信を持つので、イエス様はマタイ 5 : 14 において弟子たちに言いました。「あなたがたは、世の光です」と。これが神様がクリスマスを通して信者の私たちに語っていらっしゃる祝福のメッセージです。私たちがクリスマスの主人公です。キャロルを歌うこともいいでしょうが、暗闇の現場にイエスがキリストとして輝くように皆さんが灯台として、やぐらとしてしっかりと立っていないといけません。それがクリスマスです。

ぜひ 2023 年のクリスマス礼拝を通して、まず皆さんの内側にイエスがキリストとして輝くように。皆さんがいらっしゃる現場で皆さんを通してイエスがキリストとして輝くようになることを祈りたいと思います。先ほども申し上げましたように、クリスマスは現在進行形であることを覚えて、これからクリスマスの主人公として、光のやぐらとして残りの生涯をともに歩いていこうではありませんか。

最後に I ペテロ 2 : 9 をお読みしてクリスマスのメッセージを終えたいと思います。

「しかし、あなたがたは、選ばれた種族、王である祭司、聖なる国民、神の所有とされた民です。それは、あなたがたを、やみの中から、ご自分の驚くべき光の中に招いてくださった方のすばらしいみわざを、あな

たがたが宣べ伝えるためなのです」。クリスマスは現在進行形であることをぜひ覚えて、自分のクリスマス、暗闇に囚われてさまよっている多くのたましいのクリスマスになるように祈る信者になりましょう。

(祈り)

恵み深い父なる神様。クリスマス礼拝を心から感謝申し上げます。どうかイエス様がキリストとして輝くクリスマスの意味を正しく理解して、そのクリスマスは 2000 年前の一回限りのことではなくて、今も現在進行形であることを覚えて、私の内側にいらっしゃるイエス様がまず自分の内側でキリストとして輝くことを祈ることができるように、イエス様を主人として認めるように、ひとりひとりを祝福してください。それでそのキリストの祝福の答えを持って、闇の現場において光のやぐらとしてひとりひとりが立てられるように祝福して導いてください。残りの生涯、イエスがキリストとして輝くクリスマスの主人公として歩いていくことができるようにひとりひとりを祝福して導いてください。感謝してイエス・キリストの御名によってお祈りをいたします。アーメン。